

ひまじつぎき市民要望実現に全力でがんばります。

第二回定例会（5月21日～6月15日）で日本共産党市議団が行った一般質問を紹介しします。

日本共産党
狛江市議団

矢野市政16年の成果



鈴木えつお議員
3488-8839

鈴木えつお議員は、矢野市政16年

間の成果と今後の市政の発展方向について、①情報公開・市民参加、市民生活優先の予算編成、財政確立などの到達点をどのように評価しているか。②今後の市政運営で、新しい市長に期待することは何か、など質問しました。

に抑えて、経常収支比率は多摩26市で10位まで改善し、平成26年度以降は、公債費の減少も見込め、行革は一定の到達点に届きつつある。②市民全体の利益を守りながら、その人らしさを発揮いただきたいと答えました。

鈴木議員はまた、母子家庭への支援について、相談体制の充実など求めました。

カゴメ跡地開発問題



岡村しん議員
6751-2757

岡村しん議員は、カゴメ跡地

矢野市長は、①情報公開は全国でも先進的と考えている。参加と協働を一体とした最初の自治体。財政確立では、事業債の発行を毎年10億円以内

ピンクセンターについて、①これまでの対応。②工事中の

工事契約議案を可決

6月の市議会で、矢野市長

（当時）提案の市庁舎の耐震化と防災センター建設工事、また駒井保育園改築工事の契約議案が全会一致で可決されました。駒井保育園は来年2月完成予定、防災センターは来年6月末～7月、庁舎耐震化等は2年後に完成予定です。



工事が始まった防災センター（手前）



孤独死ゼロへ努力を



宮坂良子議員
3480-1895

騒音測定。③解体時の住民との協定についての指導。④世田谷通りからの右折入庫は、相談を受けているか。⑤排気ガス対策。⑥地下駐車場は可能か。⑦説明会の議事録が出せないか、など質問しました。

建設環境部長は、①近隣住民の意見に真摯に対応するよう要請。②基準が守られているか騒音計で調査している。③協定は努力義務だが、多くの方と合意を取りつけるよう要請。④話はあったが市道の形状協議、近隣住民の理解が必要と伝える。⑤20台アイドリングストップの掲示周知が義務づけられている。⑥地形的には可能。⑦検討したいと答えました。

岡村議員はまた、若者の就業支援など質問しました。

交通安全対策の促進を



西村あつ子議員
3480-2780

死がふえ続ける背景にあるのは貧困問題のかかわりも大きい。市としての対応策は、②孤独死ゼロを目指して「見守り」の施策は、③特養ホーム開設年度は、④元気な高齢者が特養ホームに出向き交流できる開かれたものにしてほしいなど質問しました。

福祉保健部長は、①高齢者が置かれている状況を把握する。②緊急通報システム、あんしんS、配食サービス、あんしん見守りサービスの他、チラシ配布等による協力要請をする。③平成26年度中の開設を予定している。④地域交流スペースの開放などの提案内容を踏まえ、選定事業者と調整すると答えました。

宮坂議員は、介護予防事業についても質問しました。

防災対策の促進を



田中とも子議員
042-427-1183

江通りについて、都に安全対策要望を。バス停新設の具体的計画など質問しました。

建設環境部長は、①周知の徹底と表示等の対策を行った。②関係部署とも調整する。③関係機関に信号機等の追加設置要望書を提出した。④要請していききたい。バス停は道路完成時に設置する計画と答えました。

また西村議員は、子育て支援について、①認証保育園の保護者負担軽減。②東野川学童の定員超過対策などについて質問。児童青少年部長は、①待機児解消を最優先に図る。②新たな放課後対策で定員の確保を図るなど答えました。

無料法律生活相談

- 毎月第1火曜日…午後1時～4時
- 市役所3階 日本共産党市議団控え室

*市議・弁護士が相談をお受けします。お気軽にご連絡ください。
*お申し込みは 3430-1177 (回控室) か各市議へ

